

県立串本古座高等学校 学校運営協議会

令和２年度 第３回【２月２１日（日）】

出席者 委員６名、傍聴人０人

報告

- ①令和２年度学校運営方針を受けての具体的な取り組みについて
- ②令和３年度学校運営の方向について（串本古座高等学校スクールポリシーについて）
- ③地域協議会令和３年度活動の方向性について
- ④令和３年度学校運営協議会委員について
- ⑤古座高校・串本古座高校資料館について
- ⑥その他

報告した主な内容

報告

- ①令和２年度学校運営方針を受けての具体的な取り組みについて校長から説明。
 - 主体的・対話的で深い学びへのさらなる授業改善を図る取り組みとして計画していた研修の実施や公開授業、中学校の授業見学他多くが、コロナ過の影響で十分な取り組みができなかった。半面オンライン授業等、遠隔教育への取り組みが進んだ。
 - 全国募集の推進と、地域生徒の入学者８割を目指した取り組みを行った。
 - ロケット射場完成を教育活動につなげて生徒増の機会とする取組みなど、「串本古座高校魅力化プロジェクト」の検証と改善を行った。
- ②令和３年度学校運営の方向について校長から説明
 - 生徒募集方針として、地域を支え社会に貢献していく意欲に満ちた生徒を求める。
 - 教育課程編成・実施方針として、各コースの特色にそった学びを知識・技能の習得と思考力・表現力等の育成のバランスを重視しながら実践していく。
 - 生徒育成方針として、豊かな感性と思いやりの心を持ち、時代の変化に主体的に対応できる生徒の育成をしていく。
- ③地域協議会松本から、令和３年度活動の方向性について説明
 - 全国募集のサポートの他、魅力づくりに協力していく。
 - くろしお塾の充実を図る。
- ④学校運営協議会委員の任期は１年となっている。
- ⑤本日、古座高校・串本古座高校資料館を開館した。

委員から以下の意見が出た。

- ・ 高校に何を求めているのか、子供の目指す方向を考えないといけない。
- ・ 進学希望者は、この学校に行けば必ず進学できるという高校を選ぶ。くろしお塾を継続させることが必要。
- ・ 串本古座高校は、くろしお塾で手厚いサポートを受けられる。ありがたい。
- ・ 就職希望者は、この学校へ行けばどこに就職できるという道ができている高校に行きたい。